

シリーズ 激動中国

パリ協定後の気候変動政策

金 振

博士(法学)、(公財)地球環境戦略研究機関 気候変動とエネルギー領域
研究マネージャー/主任研究員

その21 中国における新エネ自動車戦略

(1) 2020年国家目標と達成状況

2020年新エネ自動車普及目標

中国政府が2012年に発表した「省エネ・新エネ自動車発展計画(2012年-2020年)」(2020年計画)は、2020年までに、中国電気自動車(EV)、プラグイン・ハイブリッド自動車(PHEV)を含む新エネ自動車の年間生産台数と販売台数を200万台ずつまでに引き上げ(200万台目標)、計画期間内の累計生産/販売台数の両方を500万台までに拡大させる目標(500万台目標)を掲げていた。

2020年計画が新エネ自動車産業に期待する役割は、EVとPHEVに軸足を置いた自動車産業強国への移行、脱化石燃料によるエネルギー安全への確保、大気汚染物質の削減による環境保護の三つである。本シリーズでは3回に分け、中国新エネ自動車の普及状況と導入促進策などについて紹介する。

2020年の実績と目標達成状況

コロナの影響により、2020年上半期における新エネ自動車の販売台数は39.3万台、前年比37.4%までに落ち込んだ。しかし、下半期から生産、販売共に持ち直し、結果的に年間生産・販売台数は何れも136万台を達成した。とはいえ、200万台目標達成には至っていないことは明らかだ。ただ、8年間の累計生産/販売台数を見た場合、500万台目標は達成しているこ

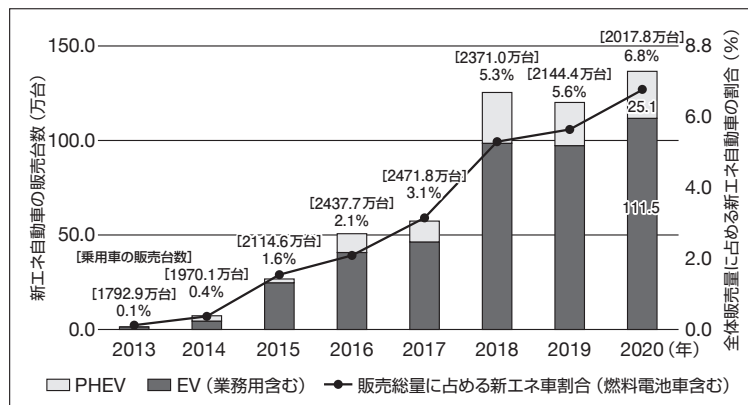
とが分かった。2013年から2020年まで、中国において生産、販売された新エネ自動車の合計は、それぞれ、562.5万台と553.7万台となった。

新エネ自動車の割合は全体の6.8%

中国乗用車の生産台数と販売台数は、2013年の1808万台と1792万台から2017年の2480万台と2471万台をもってピークに達した後、減少に転じ、2020年にはそれぞれ1999万台と2017万台までに減った。他方、新エネ自動車(燃料電池自動車含む)の生産・販売台数は年々増加し、全体乗用車販売量に占める新エネ自動車の割合は2013年の0.1%から2020年の6.8%まで向上した。

内訳をみると、2013年から2020年までのEV合計生産・販売台数は、それぞれ、422.3万台と425.5万台に達しており、PHEVの合計生産台数(103.2万台)と合計販売台数(101.9万台)の4倍以上になる。

● 2013年-2020年までの新エネ自動車の販売台数と全体販売量に占める割合



出典: 中国自動車工業連盟データにより整理